

食からはじまる これからの暮らし。

「島の学校」もおかげさまで5年目を迎えます。
わたしたちはこれまで毎年異なるテーマで、「島の暮らし」について考えてきました。

今年のテーマは「食からはじめる、これからの暮らし」。便利になった今を生きるわたしたちは、稼いだお金で、食べたいものはコンビニやネットですら買えてしまいます。

でも本来は「食」と「暮らし」はもっと近い存在であつたはず。「食」を考えることは、「暮らし」を考えることにつながるのではないか。

あまりにも目の前に、当たり前のようにある「暮らし」。ここ脚食国「あわじ」から、わたしたちの「これからの暮らし」について、年に1度くらい立ち止まって考えてみませんか？ みなさんのお越しを心よりお待ちしております。

1 お皿の上から見える暮らし

2016 9/25(日)

19:00 ~ 19:30 参加費 3,000円(1ドリンク+食材費含む)

わたしたちが何気なく食べている食材、調味料。それらは食卓に並ぶまでに実は素材本来の味を失っていると言います。手間をかけずに、食べたいものはほとんど手に入る今、自分たちで作ることの意味を、実際に淡路島の食材を食べながら考えます。

「淡路島の食材の美味しさ、
あなたは本来の味を知っていますか？」

ゲスト 株式会社 シャルティエ 代表取締役 成瀬孝一さん

1959年 愛知県豊田市生まれ
平成4年の7月に淡路島へエクスシブ淡路島開業時より、11年間ホテルの料理長を務め、平成14年9月 レストラン シャルティエ開業
平成25年10月 法人化 株式会社シャルティエ 設立
平成26年 5月より コンサルタント業を軸に活動中

2 子どもの食が育む暮らし

2016 10/28(金)

19:00 ~ 21:30 参加費 1,000円(1ドリンク)

食べるということは、命を頂くということ。
わたしたちは小学校でそう習ってきました。
しかし、そういったことを意識することは、現代の暮らしの中でほとんどありません。
私たちが「食」を考える上で一番気をかける「子どもの食」から、わたしたちのこれからの暮らしについて考えます。

「子ども・命・絵本」

ゲスト 絵本作家 長野ヒデ子さん

1941年愛媛県生まれ。
絵本作家。

1976年初の絵本「とうさんかあさん」(石風社)日本の絵本賞文部大臣奨励賞受賞。1994年「おかあさんがおかあさんになった日」産経児童出版文化賞、1996年「せとらたいこさんズパートいきタイ」で日本絵本賞。「すっすっはっこ・きゅう」おばあちゃんがおばあちゃんになった日」(以上童心社)や「狐」(偕成社)「外郎売」(ほるふ出版)「くまさんはい」(福音館書店)、「ヒデ子さんのうたあそび」シリーズ(佼成出版社)など声に出して楽しい絵本も好評。今年に入り、詩人アーサー・ビナード氏の英訳で「The Day I Became Your Momおかあさんがおかあさんになった日・英語版」(童心社)を出版。また、人権をテーマに「ひらがなにつき」(エルくらふ)、環境問題の「海をかえして！」(童心社)など、社会性テーマとも向き合う。

3 食からはじめる、明日の暮らし

2016 11/26(土)

詳細は後日お知らせいたします。